

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 荏原製作所 富津事業所
------------	---------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	2 1	2 9	3 9	9 9				

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 塗料対策(11、12)
低VOC塗料：選定、標準化、客先への提案、実機への適用
2. 溶剤対策：蓋閉めの徹底(21)
3. 洗浄剤対策
洗浄方法の工夫・変更(29)、高圧蒸気洗浄の使用頻度向上(29)
洗浄工程の廃止(29)：防錆方法の変更
4. その他の対策
廃棄物管理(99)：残液の回収、残液のVOC含有量の算出
塗料庫の入出庫管理の徹底(99)、エアラップガンの使用(39)

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 荏原製作所 富津事業所
------------	---------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ

課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	A S Eジャパン株式会社 君津分室
------------	-----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 2 1 年度以前	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	D I C E P (株) 袖ヶ浦工場
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 9	5 2								

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

タンク内温を計画を上回る 5 5 → 5 3℃ に低下させ、揮発性有機化合物の分圧をぎりぎりまで下げることが出来ました。

(その四)

工場又は事業場の名称	D I C E P (株) 袖ヶ浦工場
------------	------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

評価

工場又は事業場の名称

新日化エポキシ製造株式会社
千葉工場

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

生産量の増加により大気排出分についても増加傾向が見られる。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	新日化機能材製造株式会社 木更津エスパネックス工場
------------	------------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	広栄化学工業株式会社 工場（袖ヶ浦地区）
------------	-------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>揮発性有機化合物を含む廃棄物は、工場内焼却設備及び外部委託により主に焼却処分をしています。平成26年度は、工場内焼却設備で処分した廃棄物量が前年度より増加したため、排出VOCも増加し計画年度の目標を達成できませんでした。目標達成に向け、個別の排出源対策を検討いたします。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社アベラス・T・C 本社工場
------------	----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成26年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日本オキシラン 千葉工場
------------	-----------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
9	9								

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

千葉県条例において、平成22年度までに平成12年度排出量の30%削減目標が設定され、平成23年度以降も継続しておりますが、弊社単独でなく住友化学（株）千葉工場全体（合弁会社含む）で削減目標を達成する取組みを行っております。

その為、住友化学（株）千葉工場全体で優先度を決めて、削減計画を作成しておりますので弊社単独で計画は立案していません。

(その四)

工場又は事業場の名称	日本オキシラン 千葉工場
------------	-----------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

弊社単独でなく住友化学(株)千葉工場全体(合弁会社含む)で削減目標を達成する取組みを行っております。その為、住友化学(株)千葉工場全体で優先度を決めて、削減計画を作成しておりますので弊社単独で計画は立案していません。
その為、弊社は稼働状況によりVOCの排出量が増減します。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 横河システム建築 千葉工場
------------	-----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	日鐵住金建材株式会社 意匠鋼板事業部門君津工場
------------	----------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
○B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

脱臭炉の効率が最大となるよう定期的なメンテナンスを継続する。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	新日鐵住金株式会社 君津製鐵所
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
2	2	3	1	3	3	3	9	5	4	2	1	2	3	2	9	9	3	4	9

対策11		対策12	
5	1	5	6

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策4について ----- VOCを含むガス冷却設備の排気を副生ガス配管に回収しました。 -----
対策8について ----- 洗浄剤を再利用することにより、洗浄剤の廃棄量を削減しました。 -----
対策10について ----- VOCを含む軽油タンク・蒸留塔の排気を副生ガス配管に回収しました。 ----- ----- ----- ----- -----

(その四)

工場又は事業場の名称	新日鐵住金株式会社 君津製鐵所
------------	--------------------

(3)自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	2009年度以前	2010年度	2011年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

2009年6月にVOC排出量の大半を占める塗装設備にVOC処理設備を新設し、稼働を開始した。その結果、目標を達成することができた。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は 事業場の名称	富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所
----------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4	1	5	2						

その他対策（19、29、39、49、59、99）を記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対象油種の充てん出荷施設には平成2年3月までに炭化水素回収施設を付設し、出荷充てん時に排出されるVOCの約90%を回収している。

また固定屋根式の屋外貯蔵タンクに対象油種を貯蔵する必要性が生じた場合は、その都度当該タンクを浮屋根式（又は内部浮屋根式）に改造した後に対象油種を導入することでVOCの排出抑制に努めてきている。

したがって、弊所においては既にVOC排出抑制に実施可能な設備対策は全て済ませていると理解している。

現時点で具体的な計画があるわけではないが、今後も屋外貯蔵タンクに対象油種の貯蔵をする必要性が生じた場合等は、当然ながら必要な設備対応を完了した後でなければこれを実施しないことでVOC排出抑制に努めていく。

(その四)

工場又は 事業場の名称	富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所
----------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>1) 「環境の保全に関する協定書」（以下、単に「協定」という。）の定めに基づき、対象油種を固定屋根式タンクに貯蔵する必要が生じた場合は、これを浮屋根式（又は内部浮屋根式）に改造後に導入することでVOCの排出抑制に努めている。</p> <p>2) 平成2年3月に充てん出荷設備に炭化水素回収設備を設置し、出荷充てん時に排出されるVOCの約90%を回収している。当時「協定」の定めでは炭化水素回収設備の運転期間を光化学スモッグ注意報等の発令される4月から10月の間とされていたが、弊所ではVOCのより積極的な回収を図るため当初より年間を通じ回収設備を運転してきている。 もし、炭化水素回収設備が設置されていないとした場合、基準年のVOC排出量は460000kgと試算され、これを基準年の排出量と仮定すると、本実績報告年度の排出量は24%の削減率となる。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	旭化成ケミカルズ株式会社 川崎製造所 千葉工場
------------	----------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 9	5 4	2 1	5 1	3 1					

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>(対策1) 原料タンクのブリザー弁の点検等の工程管理を確実に行った。</p> <p>・平成23年度より製造施設が2施設から1施設に減少した。 (平成22年3月に1施設が操業を停止した為)</p>
--

(その四)

工場又は事業場の名称	PSジャパン株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	東邦化学工業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2 1	2 3	3 2	5 2	5 3	9 1				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

(その四)

工場又は事業場の名称	東邦化学工業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

基準年(平成12年)以降、設備増設により生產品目が多様化して、VOC原料の使用量が大幅に増加している。コンデンサーの増強、冷却装置の増強等を実施しているが基準年を下回ることは困難である。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 ADEKA 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

1, 2-ジクロロエタン及びジクロロメタンを使用する製品の生産量増加に伴い、 大気への排出量が増加した。 本年度も生産量増の見込みであり、削減検討を進めていく。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

